

教養科目「留学生と日本-異文化をとおしての日本理解」レポート課題一覧

次の課題の中から一つを選んで、レポートを作成してください。

レポートは2000字（A4 2枚）程度、ワープロソフトを使って作成し、プリントアウトしたものを提出すること。手書きのものは受け取らない。

1. 高木ひとみ

「留学生と日本人学生との異文化理解や交流を促進するためのプログラム作り」

大学において留学生と日本人学生の交流や相互理解をさらに活発にするには、どのようなことを行ったら良いと思いますか？ 次の3点をまとめなさい。

- (1) あなたにとって「国際交流」とはどのようなものですか？どのように定義しますか？文献を用いてまとめ、さらに自分の意見も述べてください。
- (2) 留学生の求める交流活動のニーズ、日本人学生の求める交流活動のニーズを調べ、(実際に留学生や日本人学生に聞いたり、文献等で調べたりしてください) さらに授業で学んだこと、自分自身の考え、経験等を加えて、大学においてどのような交流活動の必要性があるか、まとめてください。
- (3) 調べたニーズをもとに、留学生と日本人学生の交流や異文化理解が促進されるプログラム案をひとつ具体的に(プログラムの名前、趣旨や目的、形式、規模、開催時期、場所、協力や連携を依頼する組織や人など) 企画してください。最後に企画したプログラムを実施するとどのような効果が出るかということも検討して述べてください。

2. 田所真生子

「多文化グループワークにおけるコミュニケーションの分析」

今回のグループワークの過程において、グループ内で行ったコミュニケーションを振り返り、以下の視点のいずれかから分析してください。(グループ内の個人名が特定できる書き方はしないでください)

- ・グループ結成時から発表、その後にかけて、グループメンバー間のコミュニケーションや人間関係にどのような変化がありましたか。なぜそのような変化が起こったのでしょうか。
- ・グループ内のコミュニケーションから、文化によって異なるコミュニケーションスタイルや価値観などが表出した出来事がありましたか。それによってグループにどのような影響がありましたか。
- ・多文化グループでの共同作業を進める上で、難しかったことはありますか。それに対して、あなたはどのような工夫をしましたか。失敗したことはありますか。それらの経験をふまえ、多文化グループでの共同作業を有効に進めるにはどうしたらいいかを提案してください。

3. 渡部留美

「コミュニケーション」について、次の三つの順でレポートを作成してください。

- (1) 言語コミュニケーション、非言語コミュニケーションの説明（文献を参考に
してまとめる）
- (2) これまで自分が体験したコミュニケーションギャップについてまとめる
- (3) 異文化コミュニケーションを行ううえで、誤解や偏見が起こらないようにす
るにはどのような点に注意すればよいか、考えをまとめる

4. 浮葉正親

グループで発表したテーマについて、発表しきれなかった資料や意見があれば、それを
まとめてください。

※提出期限：1月30日（金）午後5時

提出先：国際開発研究科1F国際学生交流課内にある「浮葉」のメールボックス

教養科目「留学生と日本-異文化をとおしての日本理解」レポート提出の注意事項

①レポートの構成がはっきり分かるように、タイトルの下に目次をつけること。

(例)

日本人の妖怪観を考える-漫画や映画に登場するキャラクターを中心に-

(目次)

1. はじめに
2. 妖怪とは何か
3. 漫画やアニメに登場する妖怪
4. ホラー映画に登場する妖怪
5. おわりに

②表紙にテーマ番号と担当教員名を明記すること

(例)

テーマ4 浮葉

③参考文献、参考 URL は末尾に一覧を作成すること

(例)

<参考文献>

小松和彦編 (2003) 『日本妖怪学大全』 小学館
常光徹 (1993) 『学校の怪談』 ミネルバ書房

<参考 URL>

怪異・妖怪現象データベース <http://www.nichibun.ac.jp/youkaidb/> 国際日本文化研究センター

④引用した文献の内容と自分の意見を区別すること

(例)

小松和彦によれば、妖怪とは「人びとに『あやしい』という念をおこさせたもの、『怖い』という念を抱かせたことのすべてを意味する」(小松 2003:11) という。しかし、その定義はあまりにも漠然としすぎているのではないだろうか。

常光徹は学校のトイレや階段、特別教室という特定の空間が怪談の舞台となっていることに注目している(常光 1993:3-27)。私が通っていた中学校では、夜中の12時になると音楽教室で...